



みさと雑学大学



市民が学び 教え 新たな出会い

2023 11月講座 (第183回)

五七五で人間を詠む

- ① 従来俳句は主として、動植物などの自然を詠んだ。しかし、地域において俳句教室を実践して、会員の多くが高齢者と云うのが現実である。俳句も花鳥諷詠から、もっと身近な旦暮の暮らしの中から、人を詠むべきだと思える。
- ② 愛の俳句—両親を詠む
母への鎮魂・・・短歌、俳句及び詩などで人を表現するとき圧倒的に多いのが母への思慕の念である。俳句も例外ではなく父より遥かに母が詠まれる。私はこれを「母への鎮魂」と云う。父への思い・・・父に対しては直接的と云うより、遠視的に詠むことが多い。だが自身の老が進むにつれ「父情への思い」が強まる。父への愛は、直接的ではないが限りなく深い。
- ③ 働く人の姿を詠む—今日では俳句に限ったことではなく、詩や短歌の世界でも、その傾向が強まって来た。俳句が勤労者の詩として、職場や地域のサークルに進出したのは、庶民の最短詩として、当然の帰結である。

市民教授 紹介

たぐち のぼる

田口 登 氏



プロフィール

昭和57年より轡田進より俳句を学ぶ
 昭和58年若葉入会・平成16年若葉同人
 平成23年すみれ句会発足
 平成28年俳誌「すみれ」創刊主宰
 俳人協会会員
 三郷市文化協会会長
 句集に「歌垣の山」
 現在、三郷市で俳句教室9か所、武蔵嵐山教室、おおみや市春岡教室、松戸市笹句会で指導
 (三郷市彦糸在住)

日 時

11月18日(土) 午前10時~12時。

会 場
受講料

瑞沼市民センター 直接会場へお越し下さい。
 無 料 但し初回のみ登録料500円。学生証を発行致します。
 (80歳以上の方は免除です)

問い合わせ

NPO法人みさと生涯学習ネットワーク
 電話 090-8568-6953 水野
 三郷市教育委員会生涯学習課 協働事業
 電話 048-930-7759 (直) 荒井



OK

<http://www.msn-misato.net/zatugakudaigaku/zatuiindex.htm>

※パソコン [みさと雑学大学](#) ▶ 検索

QRコード

